

チフアナフア

津花波の地名調査ノート

「ジーワイ」と「ホーガーギー」

二月、三月は雨ばかり。

雨の日は、町史の野外調査

もままなりません。

かといって、机の前に座っ

ていては仕事になりませんの

で、晴れた日には待ってまし

たとばかりに、調査へ出かけ

ます。

西原の言語編では、西原の

地名について調査を行ってい

ます。つい先日は、津花波に

出かけました。



△写真左側・たて長に区切られた畑が「ジーワイ」跡

なんでも津花波には、明治

の土地整理事業以前の「地割

り（方言：ジーワイ）制度」

の名残がみられるとの話。

「地割り制度」とは、ムラ

の田畑や山林・原野などの土

地をムラの共有地とし、それ

をムラ人に配当し、何年かの

周期で割り変えするという制

度です。

地割りの方法は、地域によっ

て様々ですが、西原間切の場

合は、貧富割りが多かつ

たようです。明治三二

〜三三年の間に最後の

地割りが行われ、その

後は土地所有権が確定

しました。所有権の確

定後は、土地の売買・

分合筆などにより地割

りのかたちは原形をと

どめていません。

しかし、古島と呼ば

れる小字津花波原の呉

屋^ヤモ一斜面には、地割りの跡

とされる耕地が見られるとい

うのです。

「えーっ、明治以前の地割

りが残っているのー。」とわ

くわくしながら調査へ出発！

津花波では、呉^ゴ屋^ヤ仁^ニ市^シさん、

長^{ナガ}嶺^{ミネ}由^ユ光^{ヒコ}さんにお話しをうか

が、案内していただきまし

た。

「ジーワイといったらね、

チュジー（一地）、タジー

（二地）、ミジー（三地）といっ

てね、財産があるものはミジー

持ちといったさー。また、少

ない人はね、チュジーハン

（二地半）とかハンジー（半

地）ってあるわけさ。」と仁

市さん。

「以前は畑の境界にはホー

ガーギーを植えていたんです

よ。

とても固い木でしてね、

終戦直後はマッチが無い時期、

それに火をつけて翌日まで
火だねとして残しよったん
ですよ。」と由光さん。

「ホーガーギーってどん
な木？」

調査は、いつのまにかホー

ガーギー捜しへ。

小字津花波原の畑や林、

金秀都パレス下方にある小

字鏡見謝原を歩きまわって

も、なかなか見あたらない。

結局この日はホーガーの木

と対面することはできませ

んでした。（後日、由光さ

んに案内してもらい、やつ

と対面しましたよー。）

図鑑で調べてみると、ホー

ガーギーは、和名をハマゴ

ウ（くまつづら科）という

そうです。紫の花をつけ、

その葉には独特のにおいが

あるといいます。「動植物

は、実際に地域で呼ばれて

いる名前（方言名）と、和

名を一致させるのが難しい

なあー。」と思いつつ、そ

れらの方言名はきちんとひ

ろわなくっちゃ、と確認し

た今日このごろです。